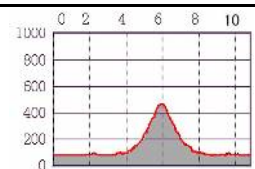


ゆっくり登山14: 奈良 三輪山

コース	三輪駅 →1.9km/29' →式島橋→0.8km/17' →仏教伝来の地碑→1.2km/26' →大神神社 →0.4km/9' →狭井神社→1.6km/69' →三輪山→1.6km/45' →狭井神社→2.0km/41' →ホ ケノ山古墳→1.2km/24' →巻向駅		
水平距離	10.8km	断面図 縦軸：高度m 横軸：距離km	
累計高低差	登り465m、下り469m		
標準歩行時間	4:22		
実績歩行時間	3:52		



山行報告

山行日 2020・1・5 (日) 天候 曇り 参加者 15名

近鉄桜井駅9:43→式島橋10:12→仏教伝来の地碑10:27~10:31→大神神社10:53~
行動 11:03→狭井神社11:09~11:57→三輪山12:48~13:02→狭井神社13:42~14:17→ホ
ケノ山古墳15:02~15:08→JR巻向駅15:30→桜井駅→京都駅

記 録

古代史探訪シリーズの一環として仏教伝来の地、大神神社、三輪山、箸墓古墳を歩く計画を立てた。実施日が1月5日だったので日本最古の神社で初詣もできた。

仏教は552年(または538年)に倭国と同盟を結んでいた朝鮮半島の百済が、倭国の欽明天皇に仏像と仏典を贈るといふ形で日本に伝えられた。

古代の日本人は、神は岩や山などの自然物に宿ると考え崇めてきたので、仏像を拝むという仏教の受け入れについて大論争が起こったことは当然だったと思う。

自然物である三輪山をご神体とする日本最古の大神神社のすぐ近くに仏教伝来の地があるので、1500年前に思いを馳せながらこれらを結んで歩こうという計画です。

桜井市のホームページによると金屋の河川敷あたりが大陸からの船が大和川を遡って到着する船着場があった場所でここに仏教伝来の地の碑がある、また欽明天皇の磯城嶋金刺宮は式島橋左岸の辺りにあったとされそこにも碑が建てられている。

さて桜井駅から歩き始め、式島橋へ向かったが下調べが不十分で欽明天皇宮跡の碑は見つけられなかった。東海自然歩道を金屋まで戻り仏教伝来の地碑に着いた。仏教伝来の地を紹介する文の末尾に、『ここより東南約300m(磯城嶋公園内)に磯城嶋金刺宮跡があり、宮跡の碑が建てられている』と書かれている。

ここから山の辺の道を歩き、金屋の石仏と平等寺を見て大神神社で初詣をした。大神神社は初詣の人で混み合っていた。

筆者は体調不良でここでリタイヤした。本隊は狭井神社境内で昼食後、受付を済ませ三輪山に登拝された。下山後、茅原大墓古墳とホケノ山古墳に立ち寄り巻向駅へ向かわれた。箸墓古墳は時間がなく割愛された。